

学年	1 学年	実施期間	5 月11日(月)～5 月15日(金)
----	------	------	---------------------

教科	科目名	単元又は題材	学習の目標	課題等	評価について
国語	国語総合	随想を読む	<p>○文章や作品を読みものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</p> <p>○語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにする。</p>	<p>○教科書のP15「世界は常に更新されている」を読んで、共感したり、疑問に思ったり、自分なりに考えたりしたことをA4版レポート用紙1枚にまとめる。</p> <p>○文章を読むのに必要な語句の意味や用法等を確認するため、辞書等の補助教材を活用し、調べたことについてもまとめる。その際、インターネット等を活用することも考えられる。</p> <p>○学習の目標を意識して見通しを立て、学習を進める中で気付いた点や工夫した点等を随時記入する。</p>	<p>○提出された文章により、目標に記された「読むこと」及び「知識・理解」を評価する。また、提出された文章と振り返りの記入により、学習の進め方について試行錯誤した点等を「関心・意欲・態度」として評価する。</p> <p>※ この学習では、「文章にまとめる」書く活動を行うが、「文章をどのように読んだのか」読む力を評価する。</p> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。(関心・意欲・態度) ・文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。(読む能力) ・語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにしている。(知識・理解)
地理歴史	世界史A	ヨーロッパ主権国家体制の成立	主権国家の形成と絶対王政の展開を理解している。	教科書P.100～103を参考にして、HPにアップしたプリント課題に取り組む。	<p>○課題の内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用して課題に取り組んでいる。(思考・判断・表現)(資料活用)の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切に解答している。(知識・理解)
	日本史A	<p>○近代国家と社会の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕末の政治と社会 ・明治維新 	<p>○開国による社会の変化について、自分の考えと教科書等の記述を比べながら理解する。</p> <p>○変化に対する当時の人びとのさまざまな対応が最終的に明治維新へと向かったことを理解する。</p> <p>○これらの歴史的事項に関する出来事や人名などの知識を習得する。</p>	<p>○教科書p.16～19を読み、次の問いについて調べたり考えたりしたことをまとめる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①開国後の社会の変化を具体例をもとに考える。 ②変化に対する人びとと感情を想像する。 ③上の①②と明治維新のつながりをまとめる。 <p>*詳細は、G Suiteの指示を参照する。</p>	<p>○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用)の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)

数学	数学 I	数と式 (因数分解)	<p>基礎的な知識及び技能の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式の展開と因数分解の関係を理解する ・たすき掛け等を活用して、様々な式の因数分解ができる 	教科書及び、問題集 (STAGE) の与えられた問	<ul style="list-style-type: none"> ○式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式の変形をしようとしている。(関心・意欲・態度) ○式を目的に応じて工夫し、展開や因数分解を見通しをもって行うことができる。(見方・考え方) ○式を目的に応じて変形したり、置き換えたりして式の展開や因数分解ができる。(技能) ○整式についていろいろな用語や展開、因数分解の性質を理解している。(知識・理解)
	数学 A	集合と場合の数	<p>基礎的な知識及び技能の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合を表す記号について理解する ・集合の要素の個数について、和集合、共通部分等の関係性を理解し、活用できる 	教科書及び、問題集 (STAGE) の与えられた問	<ul style="list-style-type: none"> ○和集合や補集合に関心をもち、要素の個数の考察に用いようとしている(関心・意欲・態度) ○集合の要素の個数を用いて、具体的な事象について考察できる(見方・考え方) ○さまざまな問題を解決する場合、集合の要素の個数を効率よく数えることができる(技能) ○集合の要素の個数、順列・組合せの用語、記号を理解している(知識・理解)
理科	物理基礎	運動の表し方(速度)	等速直線運動などについて学び、それらを用いた計算、表現を理解する。	教科書P.8～15を参考にして、アクセスノートP.6～7を、ノートまたはルーズリーフに解くこと。 ※前回掲示した課題「中学理科の復習」も含め、休校期間の間に提出する場合はその時提出してください。	<ul style="list-style-type: none"> ○速度に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究する態度を身につけている。(関心・意欲・態度) ○速度について、定性的にとらえ、正しく計算できる。 ○基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。(知識・理解)
	化学基礎	○物質の構成粒子 ・原子の構造	○物質を構成する粒子、その原子の特徴および構造について理解する。	○化学基礎の教科書P26～32を読み、ベストフィット化学基礎P21～22の類題・練習問題をノートまたはレポート用紙(ルーズリーフ)に解答する。	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の内容および振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・原子の特徴と構造について、意欲的に探究しようとする姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・原子の構造から、それに関する事象や例について考察できる。(思考・判断・表現) ・原子の構造を電子配置で描くことができる。(技能) ・原子の特徴と構造について、基本的な概念を理解し、知識を身につけている。(知識・理解)

保健体育	体育	○体育理論 1単元 運動・スポーツの文化的特徴	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。	保健体育の教科書(現代高校保健体育)P. 116～134の中から興味のあるテーマを決め、レポートを作成する。 テーマの例(教科書の単元から抜粋) 人間にとって動くとは。スポーツの始まりと変遷。文化としてのスポーツ。オリンピックと国際理解。スポーツと経済。ドーピングとスポーツ理論。 レポート作成にあたって 1. A4サイズ。枚数は表紙を入れて2枚以上。表や図の挿入など、書式自由。 2. 表紙をつけること(テーマ、学年、クラス、番号、名前) 3. 手書きであること 4. 考察(感想や考えたこと)を入れること 5. レポートの最後に「参考文献」を入れること	レポートの内容により、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展等について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明することができる。(思考・判断) ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展等について、書き出すことができる。(知識・理解) 【提出】 学校再開後・提出(こちらから指示します)
	保健	1単元 現代社会と健康 3. 健康と意志決定・行動選択	健康に関する意志決定と行動選択について影響している要因について理解する。また、健康健康課題に対して、適切な意志決定・行動選択を行うことで、自分の生活に生かすことができる。	①保健体育ノートP.6の問題に取り組む ②NOTE(右側ページ)に学んだことや感想を書く。	提出されたノートの解答や記述等から、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・健康と意志決定・行動選択について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明することができる。(思考・判断) ・健康と意志決定・行動選択について、理解したことを記述している。(知識・理解) 【提出】 学校再開後、保健体育ノートを提出。
芸術	音楽 I	○様々な楽器を知ろう。 ○楽典	○オーケストラに使われる楽器とその役割について理解する。 ○楽譜を読む上で必要な知識を習得し、今後の表現活動に生かせるようにする。	①4月13日に提示した楽器に関するレポート課題 ②楽典課題(PDFを印刷して取り組むこと) ※詳細は、G Suiteの指示を参照する。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・楽器や音楽を形作っている要素に関心を持ち、意欲的にレポート作成に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) ・音楽表現するために必要な音楽的な知識を持っている。(表現の技能)
	美術 I	○美術鑑賞	○古今東西の美術作品鑑賞を通して人間の社会・個人の多様性や精神世界に触れると共に美術を特別なものではなく身近な存在の文化であることを認識する。	○美術専用のB5サイズのノートを用意し(中学時 代に使い残したノートやページ数の少ない安価なものでも可)、教科書にある作品図版について惹かれる作品と「良いとは思えない作品」をそれぞれ1点以上選び出し、その理由や比較した感想などを書き出す。字数・枚数自由。 ○前回提示した美術関係のテレビ番組のレポート・感想文は引き続きA4レポート用紙にて追加作成して可(部数自由)。	○レポートの内容を次の評価基準により評価し、学期および年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、教科書の記述やその他の自ら調べた諸資料を参考に、主体的なレポート作成を試みている(美術への関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、感性や想像力を働かせて、造形的美しさや作者の意図などを素直に感じ取っている(鑑賞の能力)

外国語	コミュニケーション 英語 I		<p>○「アンパンマン」の成り立ちや特徴の概要や要点を読み取ることができる。</p> <p>○やなせさんがアンパンマンに込めたメッセージについて自分の考えをまとめることができる。</p>	<p>①Lesson2 section1～section3 (p. 22, p. 24, p. 26) の新出単語の意味を調べて、ルーズリーフ等(ノート不可)にまとめておく。</p> <p>②Q&A (p. 22, p. 24, p. 26) について考え、①で使用したルーズリーフに答えを書く。</p> <p>③Lesson2 section1～section3の教科書本文を大きな声で音読する。</p> <p>④やなせさんが「アンパンマン」に込めたメッセージについて自分の意見を、①で使用したルーズリーフ等に200字程度日本語で書いてまとめる。</p>	<p>○課題の内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・やなせさんがアンパンマンに込めたメッセージについて自分の意見を簡潔にまとめることができる。(表現)
	英語表現 I		<p>○肯定文・否定文・疑問文の基本的な文法事項を理解したうえで問題演習を行い、簡単な英語を使って身の回りの出来事を英語で表現できるようにする。</p>	<p>○BIG DIPPER p.14の英語例文とその和訳をルーズリーフ等(ノート不可)にすべて書いてから、p.15の問題を解き、解くことができない問題については問題文を書き写す。くわしい解説は参考書ラーナーズ高校英語の第1章「文の種類」と第2章「疑問詞と疑問文」に載っているので参考にするとよい。</p>	<p>○提出された課題の内容を次の評価規準により評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考書(ラーナーズ高校英語)等も参照しながら主体的に理解に努め、課題に丁寧に取り組んでいるか。(関心意欲態度) ・授業開始後の授業や試験で課題への取り組みの成果が見られるか。(表現/知識・理解)
家庭	家庭基礎	<p>○食生活をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。 ・基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。 ・日本の伝統的食文化を知る。 	<p>教科書P122を参考に、和食の基本形式(一汁三菜)の献立をたて、調理実習を行い、レポートにまとめる。</p> <p>※レポートの書き方</p> <ol style="list-style-type: none"> ①一汁三菜の献立 ②それぞれの材料・分量 ③作り方 ④写真添付 ⑤感想 	<p>○課題の内容を次の評価基準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一汁三菜の献立を立て、実習を行えたか。(技能) ・実習の内容を明確にレポートにまとめ、振り返りを行えたか。(関心・意欲・態度)
総合的な探究の時間	地域連携		<p>学校の所在する逗子市とはどんな場所か、さまざまな視点から「逗子市」を調べる。</p>	<p>逗子市の自然、歴史、文化、産業、特色などあなたの興味ある事柄について調べ、レポートにまとめる。図・グラフ・写真の添付可。レポート用紙(B5) 2枚以上。</p>	<p>○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)

==